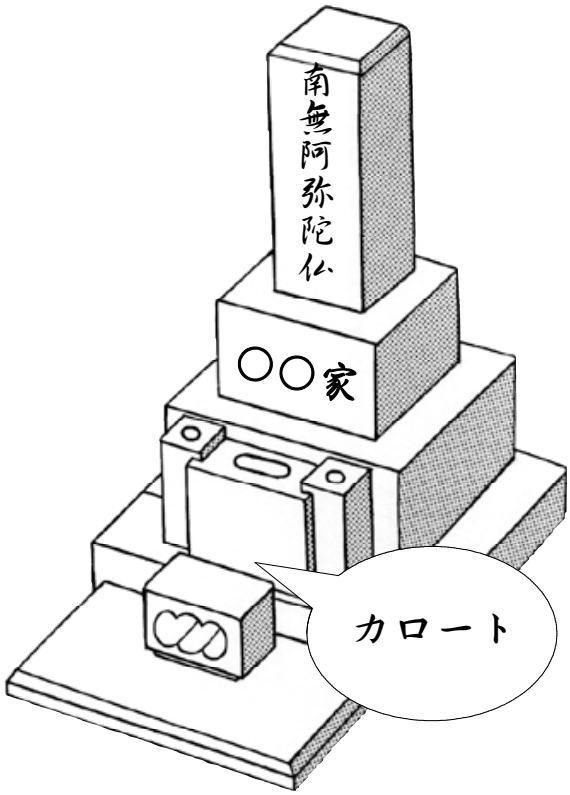
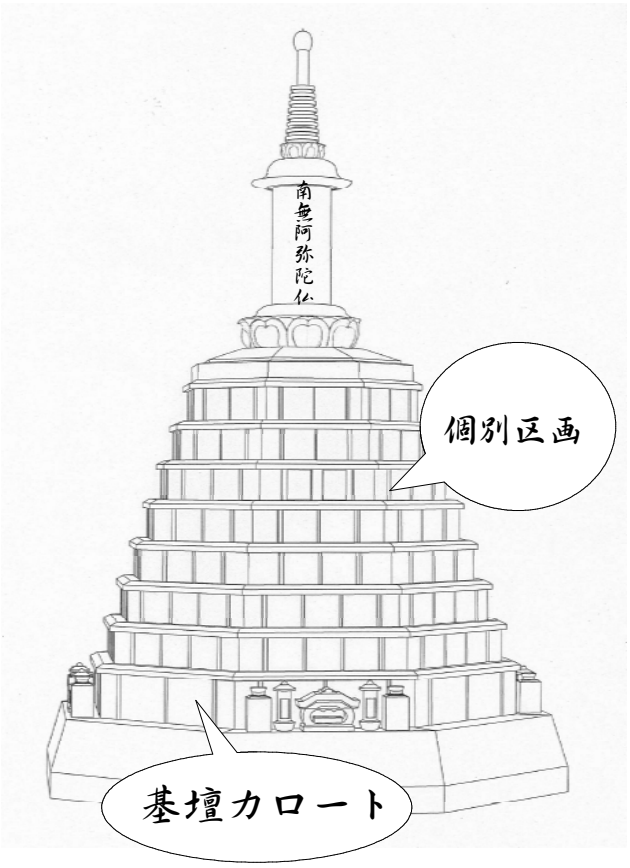
妙福寺護持永代墓
「倶会一処」
納骨方法について



一般的なお墓は各ご家庭で建立され、竿石には名号本尊（南無阿弥陀仏）や「倶会一処」の文字、又はご家名等を刻字されます。
　そして有縁の方を御骨壷におさめたご遺骨をカロート（お骨壷を納める空間：地上式・地下式があります）に納骨され、承継者の方が中心となって代々維持されていきます。

　妙福寺永代護持墓「倶会一処」は、約款に則り妙福寺で護持されます。
　参詣維持管理しやすい妙福寺本堂前庭に建立され、従来のお墓のイメージを離れた塔のデザインので総御影石の石墓です。。
　50 年 100 年と将来にわたり多くの方々のご遺徳を偲びながら妙福寺で維持管理していくため、下記の納骨方法を採っております。



①一般的なお墓のように地上式のカロート（基壇と石塔内納骨室）に約款に則り納める方法。

②すぐにカロートに納めるのではなく、原則 50 年維持の個別区画に納骨し、各期限後にカロートへ納める方法。（１体型～４体型まで：各要望受入れ可）

③カロート納めることをしない個別区画永代護持で納骨する方法。

◎お名前法名戒名等は本堂安置の過去帳に記載致します。
◎各黒御影石板の墓誌に刻字の上で永代にお名前等残すこともできます。
◎個別区画表石版にはご家名お名前等刻字の上で永代残せます。